

第3学年 社会科 「働く人とわたしたちの暮らし」 (全14時間)

「店で働く人と仕事」(教育出版・3・4年上)

指導のねらい

- ・地域の販売に関する仕事を調べさせ、その仕事の特徴や他地域とのかかわりあいについて理解させる。
- ・地域の販売に携わる人々の仕事の工夫について考えさせ、それらの仕事が自分の生活を支えていることを理解させる。

単元の実際

授業のねらいを達成するための学習活動

第1次 課題をつかむ  
予想する

①②③ 買い物調べをしよう。

- ◇買い物に関心を持ち、家庭の買い物の様子を調べる。
  - ・担任の家庭の1週間の買い物の様子を提示して買い物に対する子供の生活経験を問う。
  - ・家庭での買い物調べの計画を立てさせ1週間家庭での買い物調べを行わせる。
- ◇家庭での買い物調べの結果を表やグラフにまとめ、気づいたことを話し合う。
  - ・調べた結果から気づいたことを問い、スーパーマーケットが一番多いことの原因を予想し、見学への意欲を持たせる。

④⑤⑥ スーパーマーケットの見学に行こう。

- ◇スーパーマーケットにお客さんが集まる理由を予想する。
  - ・スーパーの1日の買い物客数を提示する。(1日平均2000人)
  - ・驚きや疑問を焦点化し、学習問題を設定する。

なぜ、スーパーマーケットを利用する人が多いのだろう？

第2次 調べる  
追求める

⑦⑧⑨ スーパーマーケットの売り場の工夫について考えよ

- ◇見学を通してわかったこと、考えたこと、思ったことを全体で発表する。
  - ・具体的事例から店の工夫や努力の意味について考えさせる。
  - ・商品の産地名から国外や国内から多くの商品が集まっていることを具体的に捉えさせる。

⑩ 買い物をしている人はどんなことに気をつけているのだろう。

- ◇家の人への質問カードを作り、事前に聞き取り調査をする。
  - ・家の人や自分はどんなことに気をつけているかを発表させる。
  - ・上手な買い物について考えさせるときの視点をはっきりさせる。

第3次 学びあう  
深め合う

⑪ スーパーマーケットで働く人はどうしていろいろな工夫をしているのだろう。

- ◇スーパーマーケットで働く人とお客さんの思いや願いのつながりについて話し合う。
  - ・売り方の工夫が、買い物をする人の願いにどのように結びついているかを考えさせる。

⑫ どうして料理教室をひらいているのだろう。

- ◇買い物とは関係ない料理教室を開いている理由を考える。
  - ・もうけるか、もうけないかについて考えさせる。
  - ・ゲストティチャーの話をしてもらい、今日の学びを書かせる。

2ページ参照

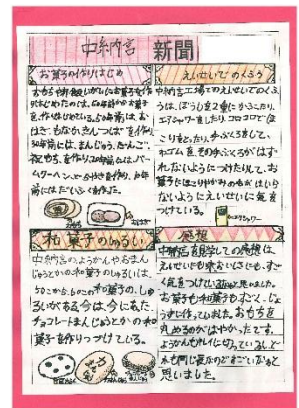
⑬ 他のお店はどんな工夫をしているのだろう

- ◇スーパーマーケット以外の店や買い物の仕方について調べる。
  - ・それぞれの特徴を確かめ、その店で買い物をする目的を考えさせる。

第4次 まとめる  
広げる

⑭ 学習のまとめとして「お店と買い物」新聞を作ろう。

- ◇新聞にまとめる。



◇ 主体的・対話的で深い学びの過程を実現する工夫

⑫ どうして料理教室をひらいているのだろう。

授業の実際

☆課題確認の場面

◇ペアで話し、全体で話し合う。

・事前に自分の考えをノートに書いておく。

店がわ

ほかのスーパーの店にないことをしたらお客さんが来るから。お客さんに来てもらいたい。

料理に興味をもってもらいたい。そうしたら、いろいろ買ってもらえると思うから。

料理教室の材料を買ってほしいから。



料理教室をしたらスーパーは、かせぐと思うよ。

うちのお母さんは、「家族に美味しい料理を食べさせてあげたいから」と言っていたよ。

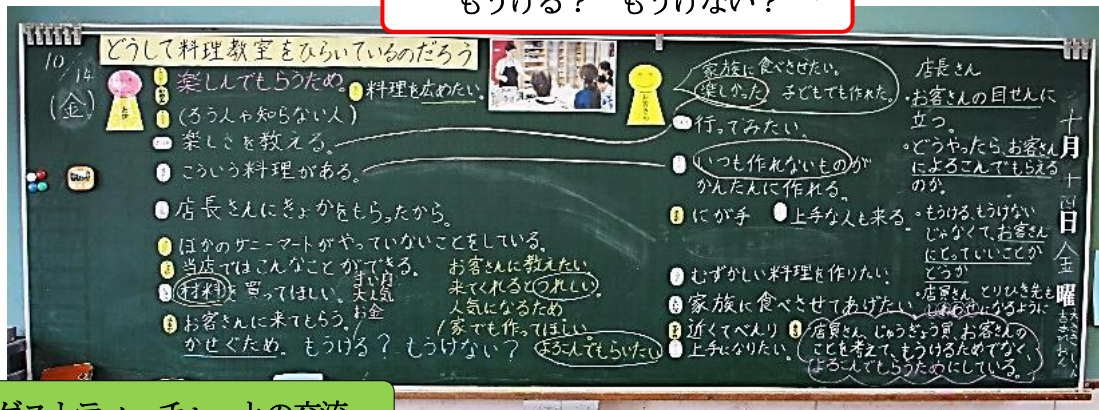
「親子で行ってみたい」と言っていたよ。

お母さんが「作ったことがないのを教えてもらいたい」と言っていたよ。

お客さんがわ

子どもの発言を受けての教師の発問

もうける？ もうけない？



ゲストティーチャーとの交流

☆振り返りの場面

・もうけるか、もうけないかについて答えてもらいスーパーの思いを伝えてもらう。

◇今日の学びを書く。



まったく、もうけません！

今日の学び

店長さんがお客さんに喜んでもらうためなら、もうける、もうけないじゃないと言ったから、スーパーはいつもお客さんのことを1番に考えているんだなと思いました。料理教室もお客さんのことを考えて、もうけなくてもいいと思っているからスーパーはすごいなと思いました。そんなスーパーは人気になると思います。今度行ったときにまた、工夫を見つけてみたいです。